

本当に社員のことを考えていますか！？

『手すりをつかもう！』で社員の健康は大丈夫か？！

職場では、今も3月末に改訂した「安全心得」などを基に「階段の手すりをつかもうキャンペーン」が行われています。先日も「手すりをつかむオブジェ」制作・他に関わった社員に「改善提案3級」の表彰が行われました。労災防止のために会社が諸施策を行うことは悪いことではありません。

しかし社員の皆さん、事務所棟（3階）から庫内（1階）へ降りる階段の手すりを見て下さい。手すりの一部の錆びた部分はそのままで。しかも左右両側の手すりには95枚もの『手すりをつかむ・交』というステッカーが貼られています。そんな粘着質のものをペタペタ貼って、そこを多くの人が触れるのですから衛生上問題があると言わざるをえません。また事務所棟の3階から4階に上がる階段にも手すりは片側しか設置されていません。

この間何名かの社員が「手すりが汚くて持つ気になれない」「抗菌仕様の手すりに変えてほしい」と訴えましたが現場の管理者は「ルールです」「手すりを持ってからモノを言って下さい」「汚いと思うなら手袋をつけて持ちなさい」といった対応で、社員の安全・衛生のためにお金をかけるという姿勢は一切ありません。これから冬場のインフルエンザが流行するような時期になっても相変わらず「錆びもあるシールペタペタで抗菌仕様でない不衛生な手すり」を持ってと言いつけるのでしょうか。

毎月開催されている職場の「安全衛生委員会」の報告の掲示を見ても、そのような事柄は議題にすら上がっていません。

現在、我が社は「リニア建設まっしぐら」でコスト削減が叫ばれています。社員の安全・衛生についてもお金をかけず「社員の注意力」に頼り「ルールの厳格化」ばかりが台頭しています。

手すりに貼られた95枚のシールも「ウチの職場はやってますアピール」ではないでしょうか。衛生面のことを考えたらあんな枚数は貼らないでしょう！

皆さんはどう考えますか？！